

令和7年第1回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時 令和7年1月20日（月）
午後2時30分から午後3時2分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者	教 育 長	滝 嶋 正 司
	教育長職務代理者	古 谷 広 明
	委 員	宮 崎 英 子
	委 員	安河内 由 香
	委 員	青 田 和 義

欠 席 者 な し

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	五十嵐 和 也	次長兼教育総務課長	關 根 浩 由
社会教育課長	石 井 巳代子	スポーツ振興課長	河 井 一 敏
学校教育部長	田 中 義 久	次長兼教育指導課長	宇佐見 昌 義
教育センター所長	坂 木 裕 子	書 記	上 村 理 恵

会議の公開・非公開 議案第1号については、個人に関する情報が含まれ、また、公にすることにより、意思決定の中立が損なわれるおそれがあることから非公開とした。

傍 聴 者 数 0名

報告事項

- ・令和6年度博物館秋期企画展の開催結果について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和6年度秋期企画展「生誕120年児童文学作家土家由岐雄展～語り継ぐ平和の物語～」は、令和6年11月2日（土）から12月22日（日）まで実施し、45日の開催期間中に3,079人の方に入館をいただいた。今回は、児童文学作家土家由岐雄氏の生誕120年を記念し、その生涯を収蔵品や文学作品とともに振り返り、併せて狭山市ゆかりの文学者について改めて学ぶことができる展示内容とした。展示物アンケート調査の結果からも、入館された9割の方に「良い」の評価をいただくことができた旨の報告がなされた。

委員からは、博物館の企画展については、毎回一言申し上げているが、今回は個人的には大変感動した。というのは、誰でも知っている「かわいそうなぞ

う」を描いた作家が、狭山市にゆかりがあるということを初めて知り、今回は狭山市でしかできない展示会だろうなと思い、非常に感動した。こういった形のものを地道に続けていくことが大切であると感じた旨の意見がなされた。

・令和7年狭山市二十歳の集いの結果について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和7年狭山市二十歳の集いは、令和7年1月12日（日）、市民会館大ホールにおいて举行され、該当者1,314人に対し出席者は964人であり、出席率は73.36%と前回と比較して2.1ポイント高くなっている。また、式典については、YouTubeにおいてライブ配信を行ったが、同時視聴者数は最大で144人、当日総視聴者数は279人であった旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、当日、知り合いの保護者数名に会ったが、ほとんどの人がYouTubeライブ配信を知らなかった。対象者に届く案内に載っているかとの質疑に、式典の案内通知の封筒にハガキとともに入れてあり、そこにURLと二次元バーコードを記載している。なお、限定配信となっているので、市公式ホームページ上での案内はしていない旨の答弁がなされた。

委員からは、封書は子どもに渡してしまい、保護者はその通知を見ていない方が多いようである。「保護者の方もご覧ください」というような文言を入れるなどの工夫があるとよいと思った。当日、保護者数名の方とお話ししたが、皆さん、自分の子が二十歳になったということで、女の子の保護者は特に、朝、着付けをして会場に送り、式典の間は何もしていない方が多いようである。以前は、保護者も小ホールで待機できたと聞いた。駐車場の台数の関係もあり難しいと思うが、保護者も、子どもの二十歳で再会できるということはすごく素敵なことだと思う。そういう機会があると、久しぶりに成長し二十歳となった子どもたちの喜びをみんなと分かち合えて素敵だと思う。YouTubeで見たい方もたくさんいて大変素晴らしいと思うが、顔合わせができればいいのという意見もあり、私もそのように思った。難しい面もたくさんあるかと思うが、検討してほしい旨の要望がなされた。

二十歳の主張をされた方たちは、皆さん謙虚で内容も良く素晴らしかったと思う。ただ、声が小さいのと早口だったので少し聞き取れない部分があった。そういう部分では少し指導が入ってもいいのかなと思った。内容に関しては、それぞれ思いがあると思うので、その辺をもう少しゆっくり喋って皆さんに聞こえるようにというような指導があってもいいのかなと思った。もう一つ、個人的な考えで申し訳ないが、席の並びだが、もちろん主催者側の我々が壇上の前の方にいるのもいいが、せっかく綺麗な着物を着ている二十歳の方たちが、我々のかげに隠れてしまうよりは、もう少し何か工夫できればと思う。われわれは一步下がって、あの綺麗な着物や立派な成人になった人たちを、もう少し客席の方から見える席並びもいいかなと、何回も成人式を見ていて、今更ながらそう思い、もう少し成人の方たちが見えるような工夫をするのも良いと今回思ったとの感想がなされた。

事務局からは、二十歳の主張の関係については、前日に来ていただき練習をしており、その際にも結構早口だったので、何回ももう少しゆっくりという話はさせてもらった。隣に立つ手話通訳者の人も追いつかないこともあり、本番では、もう少しゆっくりお願いしますとお伝えした。ご指摘の点について、来年度も、会場の皆さんが聞き取りやすいよう、ゆっくり発表してもらえるようにきちんと指導する旨の答弁がなされた。

・令和6年度転入教職員と教育委員との懇談会について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

令和6年12月20日（金）、令和6年度当初人事で、本市に転入してきた教職員と教育委員との懇談会が行われ、対象者17名中2名の欠席があり、15名が出席した。今年も例年通り2グループに分かれ、少人数で話しやすい雰囲気の中で行った。参加者からの意見や感想からは、本市の良さや児童・生徒の良さ、また学校の良さなど肯定的、好意的な意見をたくさん聞くことができた。特に、職員室の雰囲気が良いところ、それが働きやすさに繋がっていることなどの話も複数あった。反対に、本市に来てみて課題等を感じている意見についても、積極的に述べてもらった。各人が自身の指導力や良さなどを発揮して、各学校で活躍されている様子も分かり、今後も引き続き本市での更なる活躍を期待する旨の報告がなされた。

委員からは、半数の教職員としか直接話はできなかったが、皆さん非常に真面目な方が多く、子どもたちの前に立って一生懸命やっていると感じた。また、我々にとっても、こういった生の声や要望を聞くことは非常に勉強になるが、逆に、この方たちは、児童・生徒を残して出てきているので、今回の懇談会が、出席された方たちにとってプラスになったのかどうか。校務報告みたいなものを逆に言えてよかったと思っているのか、時間の無駄だと思っているのか、それはわからないが、その辺も確認してもらえるとありがたいとの要望がなされた。事務局からは、12月20日は、学校も短縮日課が始まっており、毎回、できる限り子どもたちに影響がないような日程で行っているの、直接意見は聞いていないが、そういうところも各校に確認して、負担になっていないか確認する旨の答弁がなされた。

・令和6年度スクールカウンセラー活動状況等について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

スクールカウンセラーは、県費により市内で8名が配置されている。小学校は約1か月に1回程度の訪問、中学校は1週間に1回程度の割合で訪問し、保護者との面談や児童・生徒との面談等を各学校が継続的に実施している。中学校の相談実件数は135件であり、昨年度同時期の206件と比べると71件の大幅な減となっている。小学校の相談実件数は230件であり、昨年度同時期の232

件と比べると 2 件の減とおおむね横ばいとなっている。このような結果の背景としては、スクールカウンセラーとさやまっ子相談員の連携が図られていることや、各学校において不登校児童生徒に対して柔軟な対応をする努力がなされていると考えられる。不登校の状況については、「5 教室以外の場所（相談室・保健室・別室等）に登校できた」が 38 件となっており、昨年度同時期の 14 件と比べると 24 件の増となっている。これは、校内で別室に開設されているスペシャルサポートルーム等が有効に活用されていると考えられる旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、不登校児童が年々増えており、かなりの人数が不登校になってしまっているが、教室以外の場所、保健室等に登校できた子が多いということは少し救いかなと思っている。不登校になる原因は、子どもたちそれぞれではあるが、自分の所属している教室だけが居場所ではなく、別の居場所があってもいいということを子どもたちに伝えることが大切ではないかと思う。保護者は、何をしたいかわからない状態でもあり、例えば、小学生の保護者であれば、中学生になればどうにかなるのではないかと一縷の希望を持っているのかもしれないが、教室ではない場所を居場所にするという選択肢を、子どもにも親にも伝えて、外に出ていろいろな人とコミュニケーションをとることの大切さを、ぜひこれからも、もちろんスクールカウンセラーの方もそうであるが、いろいろな方たちを通してそういうことを伝えてほしい旨の要望がなされた。

先日、狭山台中学校を訪問した時も、学校独自で不登校の生徒が来る場所を作っていた。職員の配置も、校内に配置された職員をうまく活用して、あるいはスクールカウンセラーなどとのやり取りの中で、教室以外の居場所を作ったというようなところが、これからもさらに検討していくべき取組だと思った。個人的には、どの子どもも普通教室に当たり前に通うのがいいのではないかという感覚でいるが、世の中はだんだん変わってきて、どこの場所でもその子どもが生活する場所があればいいんだというふうな考えを持つ方や、そういう考えを持つ市町村教育委員会が増えているので、この前も申し上げたが不登校の児童・生徒の人数が増えた減ったではなくて、全くの引きこもりを作らないような体制を今後、特に不登校が多い学校から順番に学校と協力して、事務局の方でも対応を進めていってほしい旨の要望がなされた。

・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）
（スポーツ振興課長）
（教育指導課長）

（要旨）

社会教育課関係 4 件、スポーツ振興課関係 1 件、教育指導課関係 2 件の後援名義使用承認の申し出があり、審査の結果、使用を承認した旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、1 番から 5 番までの行事のうち、継続の場合、昨年

度の参加人数等の実績は。また、新規の2件については、参加者は何名ぐらい予定されているのか。6番目と7番目の会場はどこかとの質疑に、1番の「第1回地域活動をする中・高・大学生交流会」は新規であり、2月15日（土）に30人から60人、2月16日（日）に20人を予定しており、2番目の「第16回高麗のふるさとウォーク」は、昨年度雨天中止となっており、その前の令和4年度には48人の参加であった。3番の「所沢マンドリンクラブ第45回定期演奏会」は、入場は無料のため正確にカウントはしていないが、約1,000人であったとのこと。4番の「チャリティジャズコンサート2025」は新規であり、364人を予定している。5番の「Minecraft1日eスポーツ体験教室」は、今年度5月に実施した際の参加者は155人であった。6番の「第37回西部地域同和教育講演会」の会場は東松山市高坂丘陵市民活動センターであり、7番の「私立中学校フェア埼玉2025」の会場は、大宮ソニックシティである旨の答弁がなされた。

議 案

議案第1号 狭山市立狭山台小学校学校運営協議会委員の解任について

狭山市立狭山台小学校学校運営協議会委員1名から任期途中で辞任したい旨の申し出があり、同氏を解任することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

（質疑等については、非公開で行われたものであり省略します。）

議案第1号については、原案可決した。

以 上